

I・TOP 横浜「まちの回遊性向上プロジェクト」始動！ 「AI運行バス」の実証実験を開始します ～観光客向けオンデマンド乗合交通システム～

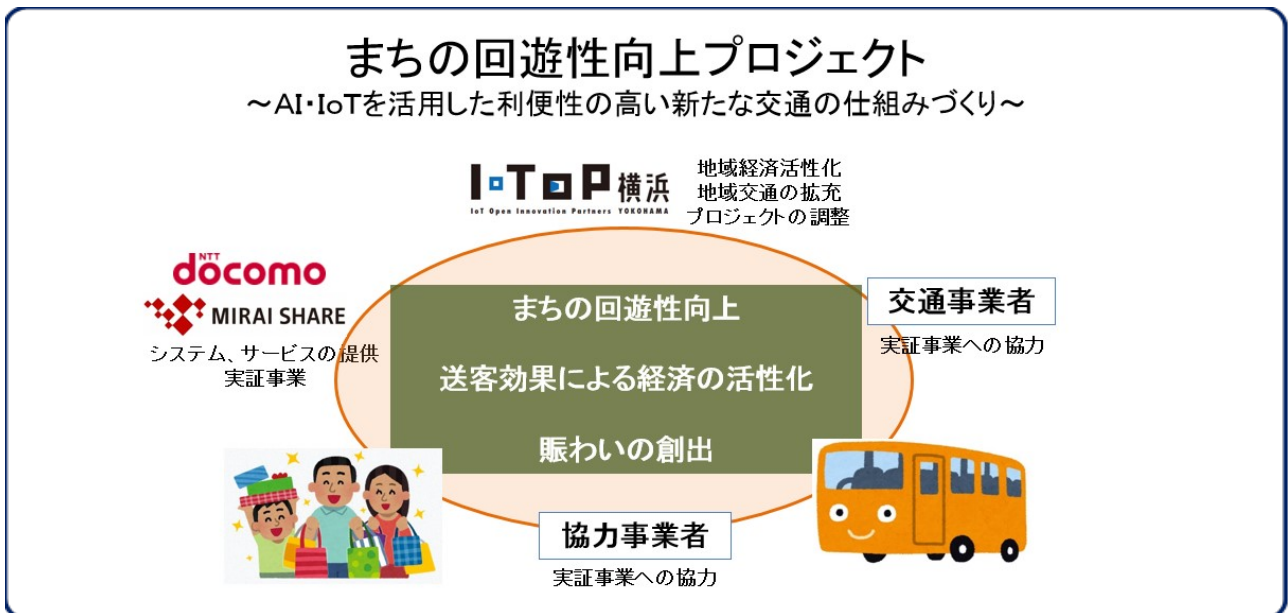
横浜市と(株)NTT ドコモと(株)未来シェアは、IoT 等による新ビジネス創出を促進する「I・TOP 横浜」の取り組みとして、街の回遊性を向上させ、周辺施設への送客効果による経済の活性化、賑わいの創出に寄与することを目指し、「まちの回遊性向上プロジェクト」を立ち上げます。

本プロジェクトの一環で、平成30年10月5日（金）より、みなとみらい21・関内地区において、オンデマンド乗合交通システム「AI運行バス」の実証実験を行います。

この実証実験では、観光客（来街者）に対する”もう一つの移動手段の選択肢”として、既存交通が対応しづらい潜在的なニーズを掘り起こし、街の回遊性向上を目指します。

なお、今回の実証はAI運行バスの実証実験としては、最大規模のものになります。

1. I・TOP 横浜「まちの回遊性向上プロジェクト」について



今回の実証では、(株)NTT ドコモと(株)未来シェアが開発したシステムを活用し、クーポンの提供などで市内商業者様に参加いただきました。AI・IoT を活用した利便性の高い新たな交通の仕組みづくりに取り組み、まちの回遊性向上を通じた経済の活性化、賑わいの創出に寄与します。

※本取り組みは、横浜市とNTTで2018年7月31日に締結した「官民データ活用による超スマート社会の実現に関する包括連携協定」の取り組みの一つとして実施します。

お問合せ先

経済局新産業創造課長 高木 秀昭 Tel 045-671-3913

※本件は、(株)NTTドコモ、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）と同時発表しています。

裏面あり

2. 実証実験について

(1) 概要

実施期間	平成 30 年 10 月 5 日（金）から 12 月 10 日（月）まで ※ただし、10 月 28 日（日）は横浜マラソン開催のため、運行を休止します。
実施エリア	みなとみらい 21 および関内エリア
乗車料金	無料
運行時間	10：00～21：00
車両台数	10 台（4～6 人乗客定員のタクシー車両）
ターゲット	観光客を中心とする来街者

(2) 乗降ポイント一覧（31ヶ所）



地図データ(c)2018 Google、ZENRIN

3. AI 運行バスについて

「スマートフォンのアプリ※1」もしくは商業・観光施設、宿泊施設、鉄道駅などに設置された「まちかど端末※2」にて観光施設、グルメスポットやイベント情報の検索ができ、そこまで行きたいときにダイレクトに移動できるオンデマンド乗合交通システムです。

アプリやまちかど端末でバスを呼ぶことができるので、ルートやダイヤを自身で探す必要がありません。また、オンデマンドかつ最適ルート運行のため、自分のペースで観光スポット間を移動できます。さらに、リアルタイムな観光情報やクーポンを獲得できるため、まちを楽しめます。



【※1 スマートフォンアプリ概要】

【※2 まちかど端末イメージ】

